

秋田県で高病原性鳥インフルエンザ発生！！

秋田県の大型採卵鶏農場で、高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）が確認されました。

今シーズンも渡り鳥飛来が始まり、警戒期に入りました。発生防止対策を再点検し徹底して下さい。

【発生農場の概要】

- ・所在地：秋田県横手市
- ・飼養状況：採卵鶏 約14.3万羽規模

【経緯】

(11月9日)

- ・鳥インフルエンザ簡易検査陽性

(11月10日)

- ・遺伝子検査で疑似患畜確認（H5亜型）



◆鳥インフルエンザウイルスは、感染した渡り鳥(死体や糞)などと接触した人、物、水、野生動物等により鶏舎内へ運び込まれると考えられます。

毎日の健康観察！ 早期発見、早期通報！

防鳥(柵)対策

網目2cm(柵は、太い金網約1cm)角以下のネットやビニールシートで侵入を防止、破損箇所の点検、補修！



飲用水対策

水道水以外の飲み水は消毒を徹底！



人・車両対策

出入り口でウイルス遮断！消毒徹底！
家きん舎入出時の手指の消毒！
家きん舎専用の作業靴、作業着の着用！

野生動物侵入防止対策

侵入経路遮断！
家きん舎やタンク周辺に餌となる誘因物を置かない！



特定症状（以下の症状を確認したら直ちに通報してください。）

- ・同一の家きん舎内で1日の死亡率が過去21日間平均の2倍以上
- ・鳥インフルエンザの検査でウイルス抗原及び抗体確認
- ・その他(5羽以上がまとまって死亡、鶏冠、肉垂チアノーゼ、沈うつ、産卵率低下等)